

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	原子力研究開発利用の推進		担当部局庁	研究開発局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～未定		担当課室	原子力課		原子力課長 増子 宏		
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-5 原子力分野の研究・開発・利用(紛争解決を含む)の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	文部科学省が担う原子力分野の研究開発利用を進めるために必要な事務を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	文部科学省が担う原子力分野の研究開発利用を進めるために、核融合研究等の原子力分野の国際協力、原子力関係者の海外派遣等の必要な事務を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		152	169	138	141	
		繰越し等		0	0	0		
		計		152	169	138	141	
	執行額		133	130				
	執行率(%)		87.5%	76.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	原子力の研究開発利用を効果的かつ円滑に進める(事業実施を支える事務費等であるため、定量的な成果目標を設定することは困難)。			成果実績	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国内外における動向調査、会議の出席等(のべ回数)			活動実績 (当初見込み)	-	408	405	-
					-	(529)	(459)	(384)
単位当たりコスト	0.11百万円(百万円/回)			算出根拠	平成24年度国内外における動向調査、会議の出席等に係る執行予算/ のべ回数 0.11百万円=45百万円 / 405回			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	非常勤職員手当	10百万円	10百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」0				
	諸謝金	2百万円	2百万円					
	職員旅費	24百万円	28百万円					
	委員等旅費	30百万円	30百万円					
	在外研究員旅費	26百万円	26百万円					
	庁費	46百万円	45百万円					
	情報処理業務庁費	0.5百万円	0.5百万円					
	自動車重量税	0.03百万円	0.03百万円					
計	138百万円	141百万円						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、各種の事務作業を実施するためのものであり、文部科学省が担う原子力分野の研究開発利用を進めるために必要なものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理を実施している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業の実施により、文部科学省の原子力分野の研究開発利用を進めるための取組は滞りなく実施されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切に処理されている。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、文部科学省が担う原子力分野の研究開発利用を進めるために必要な事務を行うものであり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:当該事業は、平成24年度決算において不用額が生じているものの、平成25年度当初予算で既に予算の縮減を図るなど一定の見直しを実施している。平成26年度においても、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	平成25年度から課室が統合されることにより事務費の大幅増が見込まれる中、引き続き、事業の効率的・効果的な実施を目指し、平成26年度概算要求においては、庁費の一部縮減や増分の事務費の圧縮等により予算の縮減を図った上で、概算要求に▲4百万円反映した。					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0289	平成23年	0278, 新23-0057	平成24年	0294

※平成24年度実績を記入。

文部科学省
130百万円

非常勤職員手当 8百万円
委員等旅費 23百万円
諸謝金 1百万円
職員旅費 22百万円
在外研究員旅費 26百万円
庁費 49百万円

A.水戸原子力事務所(地方支
分局)
19百万円

茨城県における環境放射線監
視業務及び国と地方自治体や
関係機関等地元との連絡調整や、
地元の原子力に関する活動の
支援及び情報収集を行う。

【一般競争・請負】

B.日立アロカメディカル(株)
1.8百万円

放射線設備機器等の点検校正

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	非常勤職員賃金、水戸原子力事務所専用 回線使用料、電気料等	17百万円			
その他	職員旅費、委員等旅費、情報処理業務庁 費、電子計算機等借料、土地借料、自動車	2百万円			
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費		1.8百万円			
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日立アロカメディカル(株)	放射線設備機器等の点検校正	1.8		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					